

「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 ～ 選ばれるまち快適安心居住都市 いみず ～

「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の背景

わが国における人口減少と地域経済の縮小

国では、平成20(2008)年をピークに人口減少局面に入っている。
約1億2,700万人(2015年)の人口が2060年には、約8,700万人になると予測

人口減少は、経済規模の縮小など、社会経済への影響大
地方では、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という悪循環の連鎖に陥るリスクが高い。

国の対策 人口減少克服、「まち」「ひと」「しごと」の好循環をつくる

人口減少克服、「まち」「ひと」「しごと」の好循環をつくるための取り組み指針となる長期ビジョン及び施策の方向をまとめた総合戦略を策定
長期ビジョンでは、人口減少に歯止めをかけ2060年に1億人程度の人口を確保

地方の役割 地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定

まち・ひと・しごと創生法で「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとされた。



人口減少の克服と地域活性化に取り組み、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るために、
「射水市人口ビジョン」及び「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

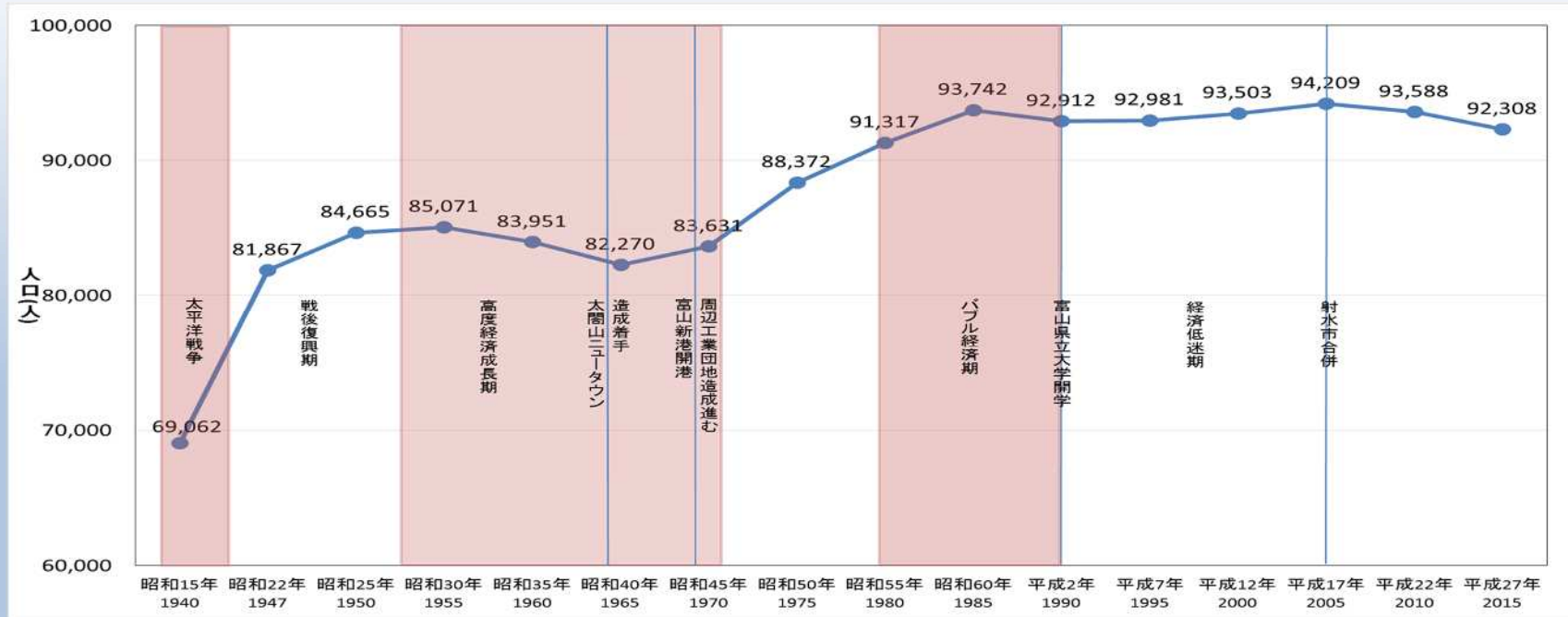
射水市人口ビジョン [総人口の推移]

1

本市の人口は、平成17(2005)年の94,209人をピークに、減少傾向にある。平成27(2015)年の国勢調査は、92,308人で、人口減少の流れが鮮明になっている。

本市の人口は、太閤山ニュータウンや富山新港の建設等により伸びていたが、平成17(2005)年の94,209人をピークに、近年は減少傾向にある。平成27(2015)年に実施された国勢調査では、92,308人で、前回調査(平成22年)と比較して、1,280人、1.3%の減となり、減少幅、減少率ともに前回調査を上回る結果となった。

図1 射水市の総人口の推移

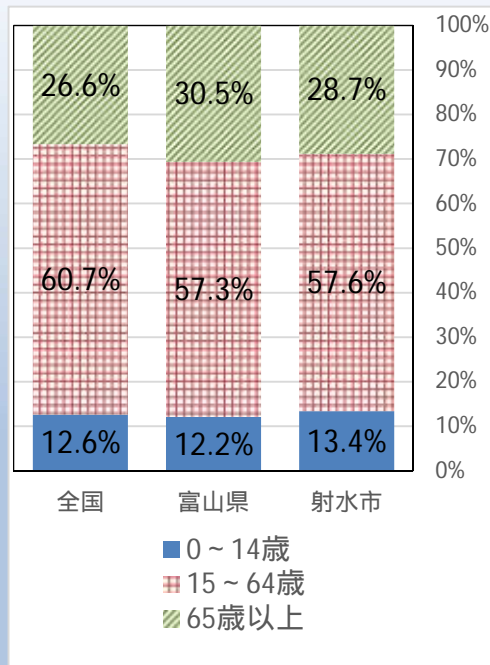


射水市人口ビジョン [年齢3区分別人口の推移]

2 本市でも、少子高齢化の傾向が強まっている。

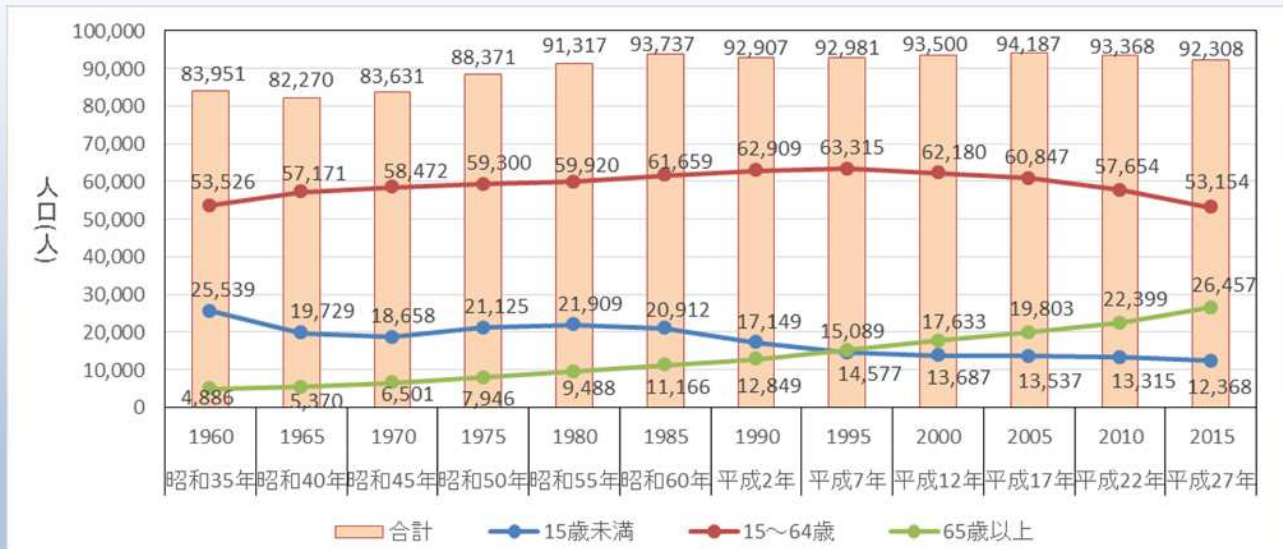
平成27(2015)年の構成比では、富山県と比べ若い世代がやや高い。また、全国と比較すると、老年人口比が高い。(図2)
 平成7(1995)年を境に年少人口と老年人口が逆転し、少子高齢化の傾向が強まっている。(図3)

図2 年齢3区分別人口構成比
平成27(2015)年



資料：国勢調査

図3 射水市の年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

射水市人口ビジョン [出生率、晩婚化と出生子ども数]

3

人口減少の主な要因は、出生数の減少と若い世代を中心とする転出

(1) 出生数の減少は、非婚化・晩婚化も影響

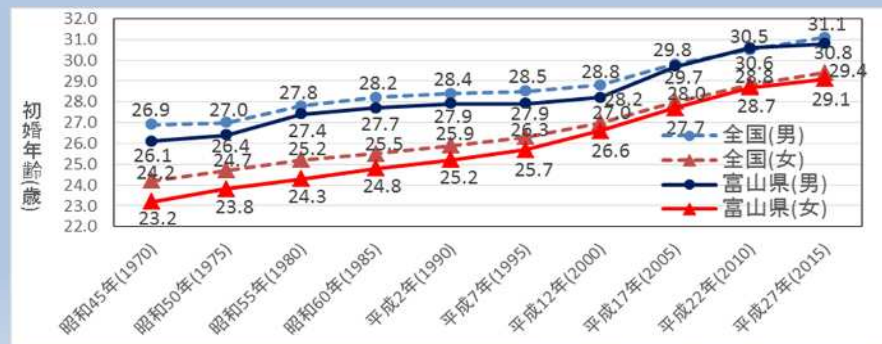
本市の合計特殊出生率は、平成27(2015)年で1.51となっている。全国及び富山県よりはやや高いが、人口置換水準(人口を一定に維持できる水準)の2.07よりは低い。(図4)
 初婚年齢は高年齢化している。(図5)
 晩婚の人ほど、平均出生子ども数が少ない傾向にある。(図6)

図4 射水市合計特殊出生率の推移



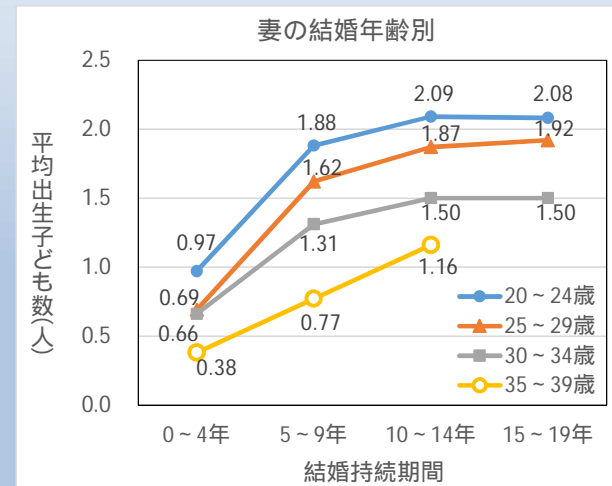
資料：富山県人口動態統計

図5 平均初婚年齢の推移



資料：人口動態調査(厚生労働省)

図6 結婚年齢別平均出生子ども数



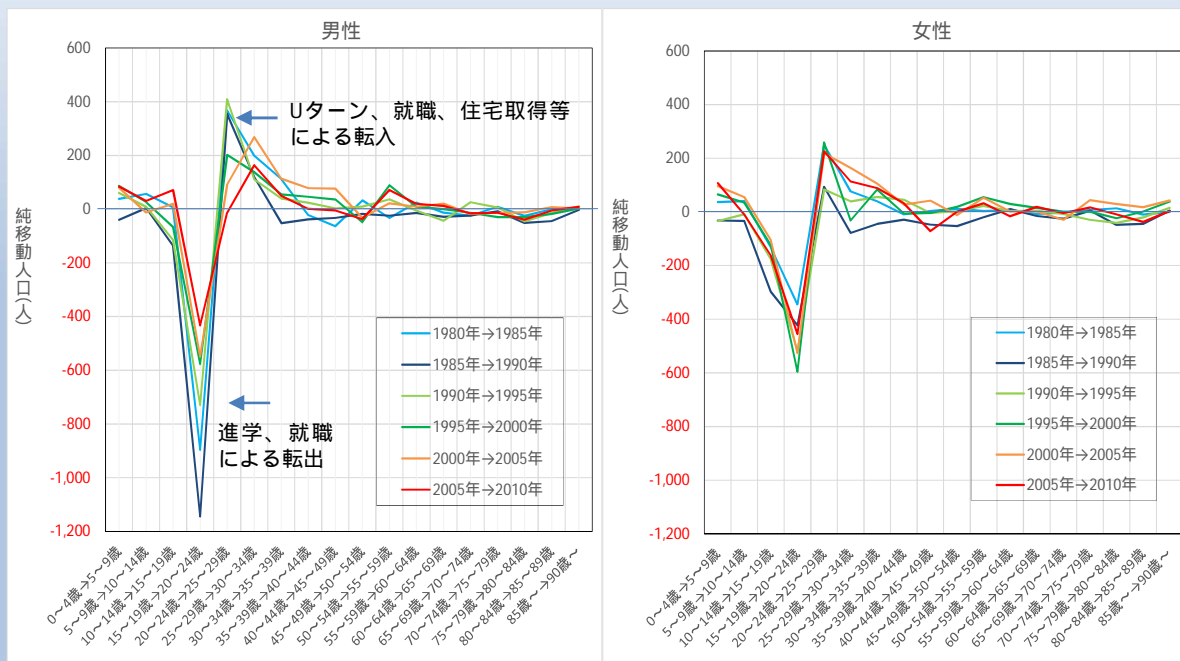
資料：第14回出生動向基本調査(2010年)
 (厚生労働省)

射水市人口ビジョン [若者世代の純移動(転入 - 転出)]

(2) 社会減の主な要因は、若年層の進学や就職による大都市等への転出

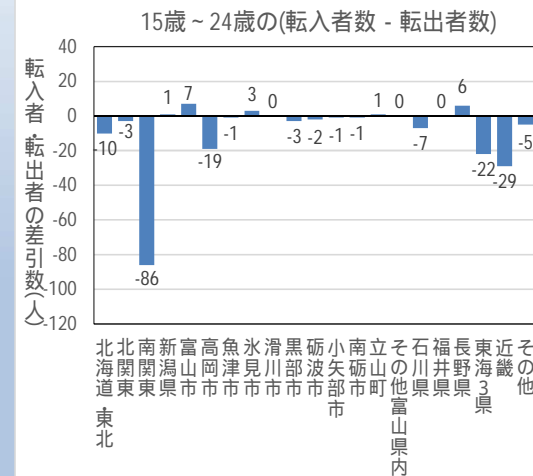
社会移動は、15歳～34歳の世代で大きく動いている。
 15～19歳は、進学や就職による市外への転出、20～24歳は大学卒業後のUターン就職による転入が純移動の主な要因と考えられる。

図7 射水市の5歳階級別、男女別人口の純移動の推移



資料：国提供（男女別5歳階級別人口は、国勢調査の人口と各期間の生残率を用いて推定した値）

図8 射水市の転入元・転出先別純移動人口 平成25(2013)年



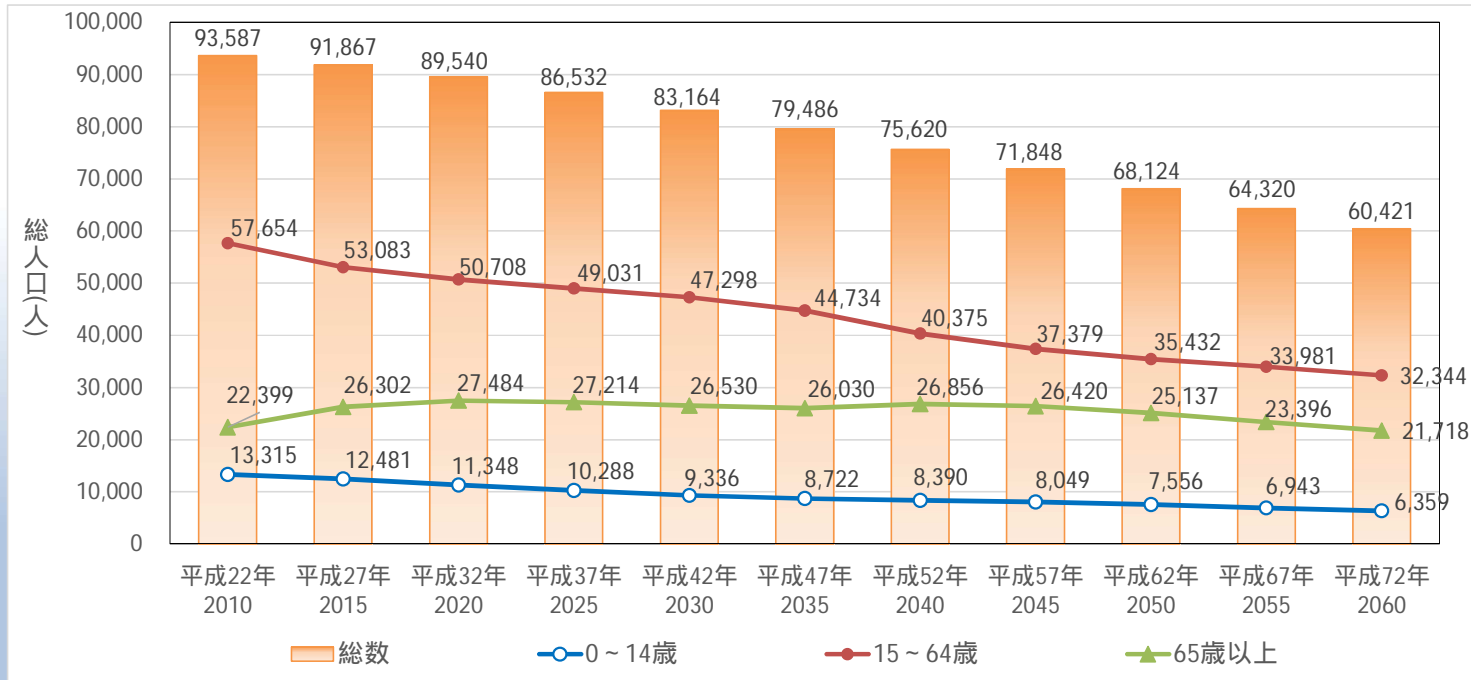
資料：住民基本台帳人口移動報告年報 (1月1日から12月31日の集計データ)

射水市人口ビジョン [社人研による人口推計値]

4

本市の人口は、減少し続ける可能性がある。[平成72(2060)年の本市の人口予測は、約60,400人]

図9 射水市の人口推計(社人研準拠推計)



人口減少は、地域コミュニティの機能低下、地域産業の担い手不足、地域活力の低下、生活サービスの低下、空き地・空き家の増加及び市財政への影響(税収の減少)など、社会生活に大きな影響をもたらす。

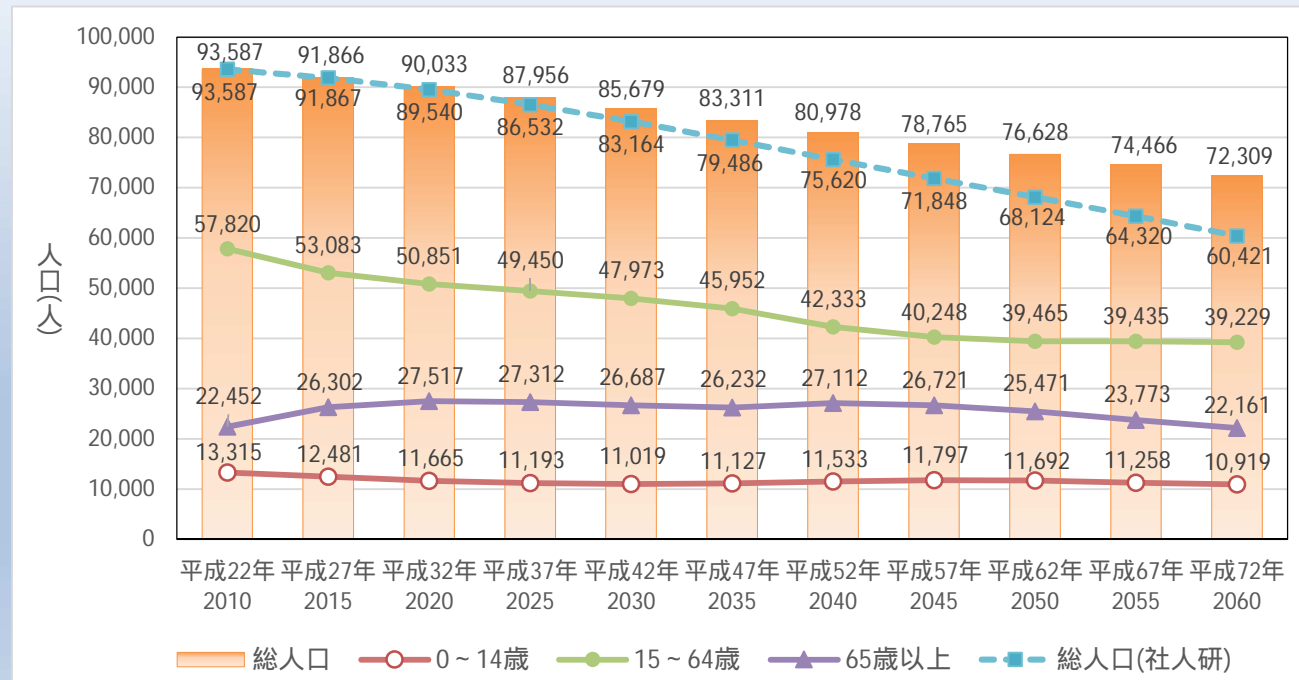
射水市人口ビジョン [射水市の将来目標人口]

5

人口減少対策を積極的に取り組むことによって、将来(2060年)の目標人口として、72,000人の確保を目指す。

人口減少を抑制するためには、転出を抑制し、転入の増加(とりわけ20代の若者世代のUIターン促進)を図り、社会減少を抑制する必要がある。また、出生率の向上(出生率の希望実現)を図り、自然減少を抑制する必要がある。人口減少対策を積極的に展開し、出生率の向上と転入・転出の均衡化を図り、平成72(2060)年までに72,000人の人口を確保する。

図10 射水市の将来目標人口(総人口、年齢3区分別人口)



射水市総合戦略 [総合戦略の基本目標と講ずべき施策の方向]

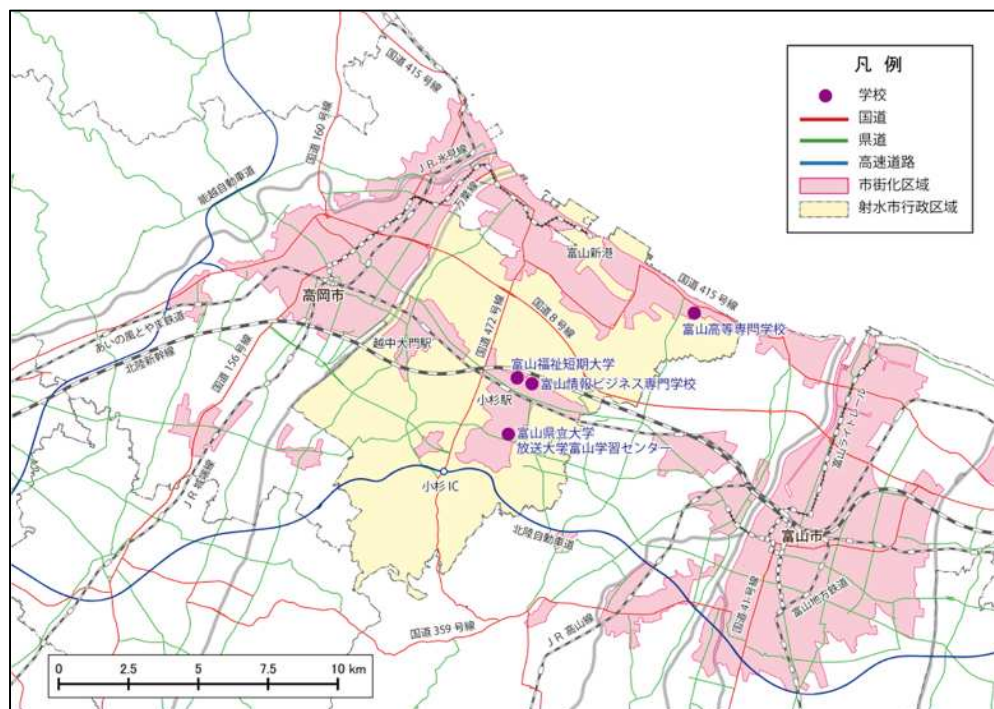
6


人口減少対策を展開するために、本市の強みや特徴を活かすとともに、施策の重点課題を踏まえ、4つの柱を総合戦略の基本目標として設定する。

【射水市の強み・特徴】

- (1) 地理的特性
富山市、高岡市の間に位置し、多様な交通幹線網がある。
- (2) 高等教育機関の集積
若い世代のまちづくり参画や高度な情報・知見が得やすい。
- (3) コンパクトな市域
サービス分配の効率の良さから、高いサービスを受けられる。
- (4) 地価
富山市、高岡市に比べ、高くなく、住宅供給のポテンシャルが高い。
- (5) 子育て支援が充実
子育てしやすいまちとして周知されている。
- (6) 強い産業が数多くある
製造業、運輸業では、市外からの通勤者が多い。
- (7) 環日本海圏の交易拠点
国際拠点港湾及び総合的拠点港に指定されている富山新港がある。
- (8) 交流人口
海王丸パーク、太閤山ランドなどがあり、多くの人を訪れている。

図11 射水市の交通条件及び高等教育機関の立地状況



本市の特徴を踏まえた
将来の方向性  「住んでみたい」、「住み続けたい」と感じられる
～ 選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～

1 交通と住まいが快適なまち

- ・コンパクトな市域であり、効率的な行政サービスの展開が可能
- ・通勤、通学などの移動を便利にすることにより、本市での居住を促す。

2 子育てと学びの希望がかなえられるまち

- ・これまでの子育て支援に力を入れた施策から子どもを大切にするイメージも定着
- ・大門庁舎跡地を利用した子育て総合支援施設を整備し、子育て世代に魅力あるまちとする。
- ・ふるさとの歴史、文化、産業、食などについて学び、体験する機会を創出

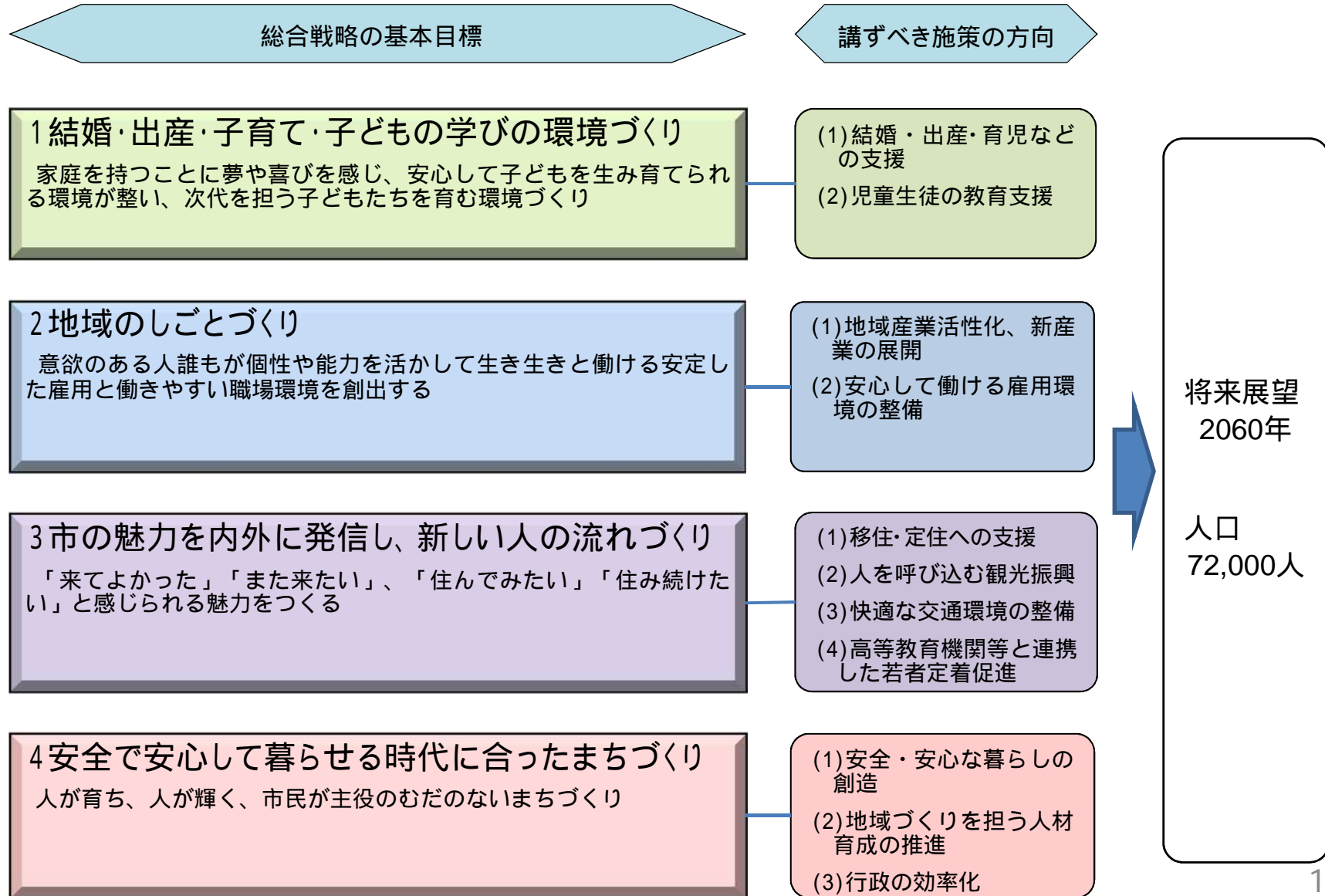
3 高等教育機関と共に歩むまち

- ・本市に愛着を持ってもらい、卒業後も本市にとどまる学生を増やす。
- ・高等教育機関の持つ、知の財産を教育、産業、福祉等に活用する。

4 人口減少に対応したまちのリノベーション

- ・人口規模に見合った適切な公共施設配置計画を進める。

射水市総合戦略 [総合戦略の基本目標と講ずべき施策の方向]



射水市総合戦略

《基本目標1》結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

(1) 数値目標

数値目標	基準値(平成26年度)	目標値(平成31年度)
「子育てが楽しい」と回答する割合	97.1%	100%
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小学校93.3% 中学校79.8%	小学校100% 中学校100%

(2) 主な施策

婚活支援事業

婚活サポート体制の構築や婚活イベントを企画・実施する団体等への助成等

子ども子育て総合支援施設の整備

大門庁舎を活用し、妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を行う拠点を整備

《基本目標2》地域のしごとづくり

(1) 数値目標

数値目標	基準値(平成26年度)	目標値(平成31年度)
雇用創出数(年間求人数)	8,025人	8,400人
射水市魅力度ランキング	639位	500位以内

(2) 主な施策

サクラマス養殖加速化事業

養殖技術の向上や商品開発、市場開拓等に対し、支援

合同企業説明会事業者参加支援事業

3大都市圏で開催される合同企業説明会に市内企業が参加するための費用を助成



射水市総合戦略

《基本目標3》市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

(1) 数値目標

数値目標	基準値(平成26年度)	目標値(平成31年度)
純移動数(転入者数 - 転出者数)	H22～H26の5年間の統計 実績 502人	5年間で 275人 (目標人口推計より)

(2) 主な施策

地域おこし協力隊事業

隊員1名を配置し、移住・定住促進活動と移住希望者へのサポート、情報発信を実施

明日の射水を担う若者定住助成金

奨学金の返済額を一部助成し、大学生等のUターンを促進

《基本目標4》安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

(1) 数値目標

数値目標	基準値(平成26年度)	目標値(平成31年度)
元気な高齢者の割合(要介護認定等を受けていない者の割合)	81%	78%
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	-	50%

(2) 主な施策

公共施設等総合管理計画の策定

インフラを含む公共施設等の総合的かつ計画的な管理の強化

富山県西部圏域連携都市圏の形成

圏域全体の経済成長や生活関連サービスの向上



地域(提案)型市民協働事業を活用した主な事例

ふたくち地域振興会 地域提案型市民協働事業



食育ちえ袋講座



紙芝居や絵本の読み聞かせ



三世代交流で竹細工

庄西地域振興会 地域型市民協働事業



六渡寺海岸の清掃



三ヶ地域振興会 地域提案型市民協働事業



子ども支援フォーラム



門松づくり



稲刈り

太閤山地域振興会 地域型市民協働事業



コミュニティバス停の除雪

防犯パトロール・清掃活動の強化

